

就職内定率50%!



就職一次試験の結果発表があと数人を残すだけとなりました。当初より今年はずっと厳しいと言ってきましたが、約60人の就職希望に対して、合格者と不合格者がほぼ半々となりました。一昨年の一次の不合格者が5人、昨年が7人と比較しても今年の厳しさが際だっていることが分かります。

先日ハローワークから一次試験で充足できなかった企業の一覧表が届きました。その一覧表を下に紹介します。一次で受験者がありながら不採用にしての結果ですので、ここに掲載されている各企業はそれなりに条件が付き敷居が高くなっていることを覚悟してください。一次と同じような気持ちで受験しても難しいかもしれませんが、落ちることもいとわずチャレンジしてみる価値はあると思います。希望者は出来るだけ早めに申し出てください。個々の企業の詳細はすでにクラスに配布してある求人表を参照してください。

恵幸堂歯科医院(1) (株)丸滝(1) 特別養護老人ホームさくらの里(3)
(株)サンポー(2) マルギンインターナショナル(3) 二光(2) 辰野工学(1)
伊那エンジニアリング(2) シキボウ電子(1) ヨシオカ(5) 富士工業(3)
ルビコンエンジニアリング(2) 東京ビジネスサービス(2) 志賀野シーケンス(1)
ビジナルサービスセンター(2) 井坪建設(2) 宮坂組(3) 唐木電設(2)
中央板金(1) 伊藤左官工業所(1) 伯耆原ホーム(1)

なお、これ以外で2次の試験を実施してくれそうなところは、今のところほとんど無い状況です。幾つかの企業に電話で問い合わせたり、就職支援員の唐澤さんにもすでにかなり多くの企業を回っていただいておりますが、明るい話がほとんどありません。これまでであれば、一次でダメでも二次でお願いすれば卒業までに全員の進路が決まっていたと思いますが、ことしはこれから30人近い生徒の就職を求めるのは極めて困難が予想されます。しかも二次で合格しなければ先が思いやられます・・・。

まだ進路が決まらない人は、もうしばらく二次募集が出るまで待つか、出てきたところで適当なところは積極的にチャレンジするより当面この状況から抜け出す道はありません。チャンスはそう常にめぐって来るものではありません。少ないチャンスを見逃さずこのときと思ったときは積極的にチャレンジし、ものにすることが大切でしょう。



景気の二番底は来るのか？

今企業の人達は年明けから3月にかけて景気の二番底が来るのではと懸念しています。アメリカのオバマ大統領も必ずしもアメリカの経済の立て直しに成功していません。世界的にも一段と経済の厳しさも予想されています。現在の景気の上向きは単に需要の先食いによるものと見られています。国内では、日本の民主党の政権がどうこれを取り切ってくれるかが頼みの綱ですが、財政の見直しにより必要なところに資金が回されなくなると、景気はさらに悪化する可能性もあります。まだ今後の経済動向の先は読めませんが、何とか二番底だけは避け上向いてくれることを祈りたいものです。